

EIDAI グランマジエスト キッチン

取扱説明書

このたびは、システムキッチンをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

システムキッチンを正しくお使いいただくために、ご使用になる前に本説明書をよく読んで正しくお使いください。

このシステムキッチンは、一般住宅用の製品ですので業務用には使用しないでください。お読みになったあとは必ず大切に保管してください。お客様がご購入いただいた製品以外の内容も含まれていますのであらかじめご了承ください。



保証書付

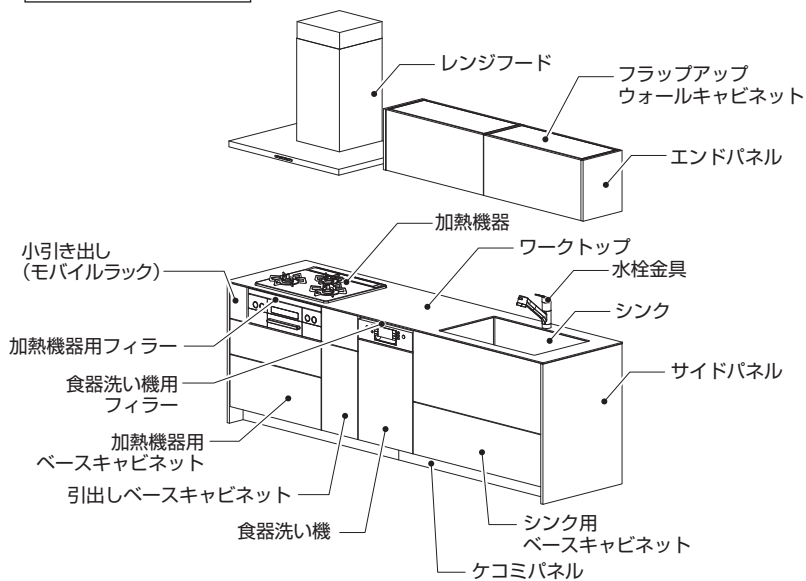
もくじ

- 1. キッチン各部の名称 2~3
- 2. 安全上のご注意 4~6
- 3. ワークトップ・カウンター..... 7~8
- 4. シンクまわり (シンク・排水トラップ) ... 9~13
- 5. キャビネット (キャビネット・引き出し) ... 14~17
- 6. 扉・パネル 18
- 7. 引き出し 19
- 8. 家電収納 20
- 9. キッチンパネル (マグネットタイプ)... 21
- 10. 設備機器..... 21
- 11. 交換・調整方法 22~28
- 12. こんなときには?! 29
- 13. アフターサービス 30

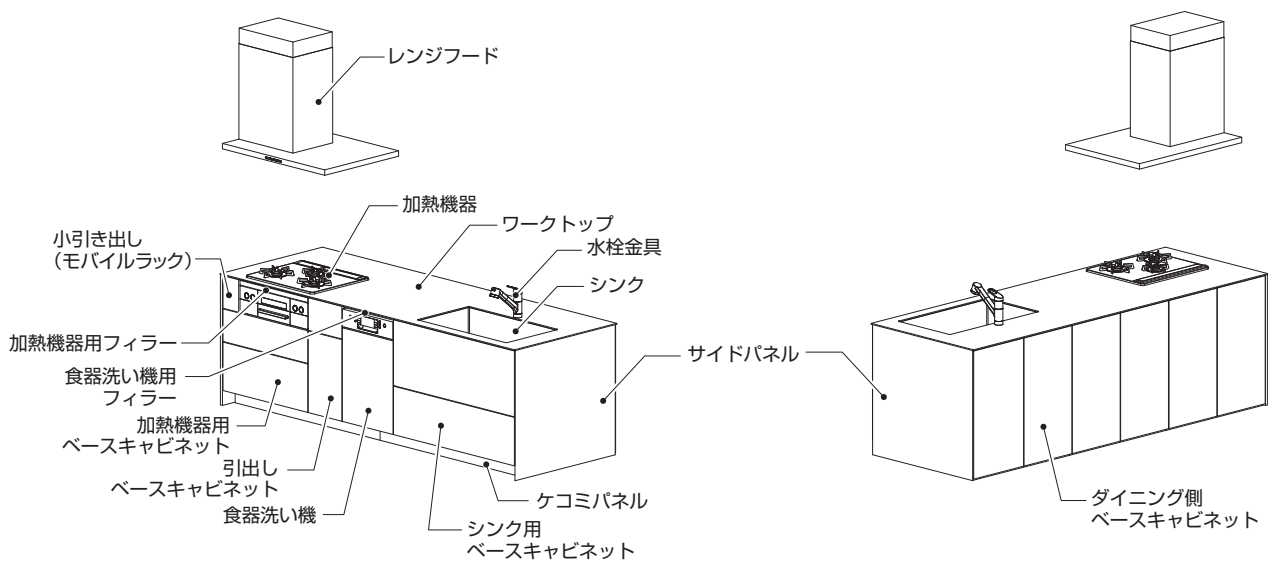
1 キッチン各部の名称

キッチン

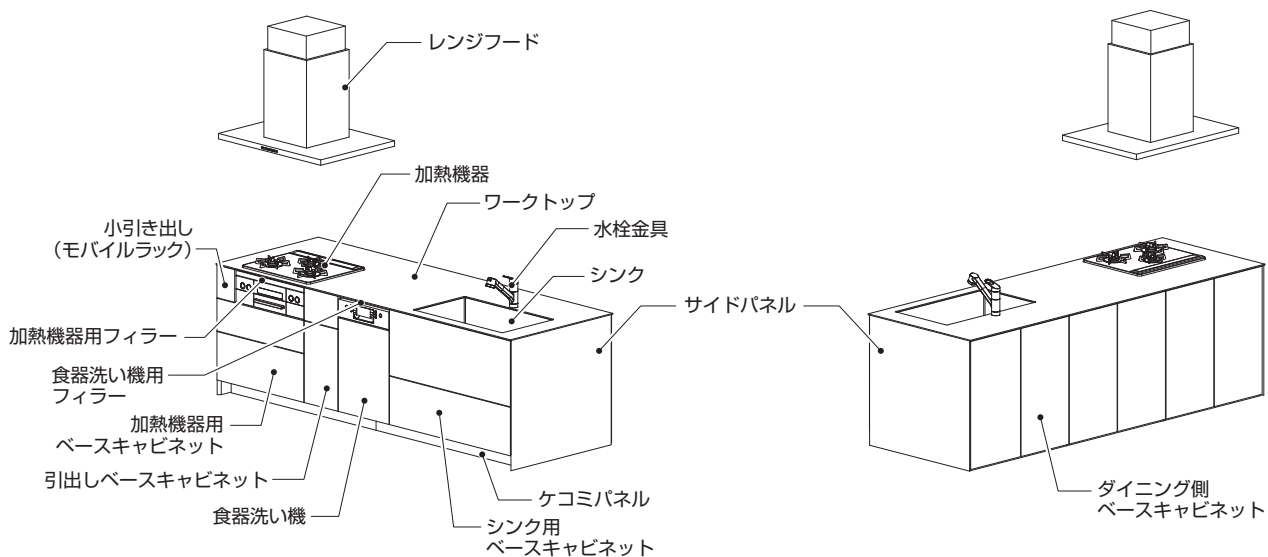
I型プラン



ペニンシュラ型プラン

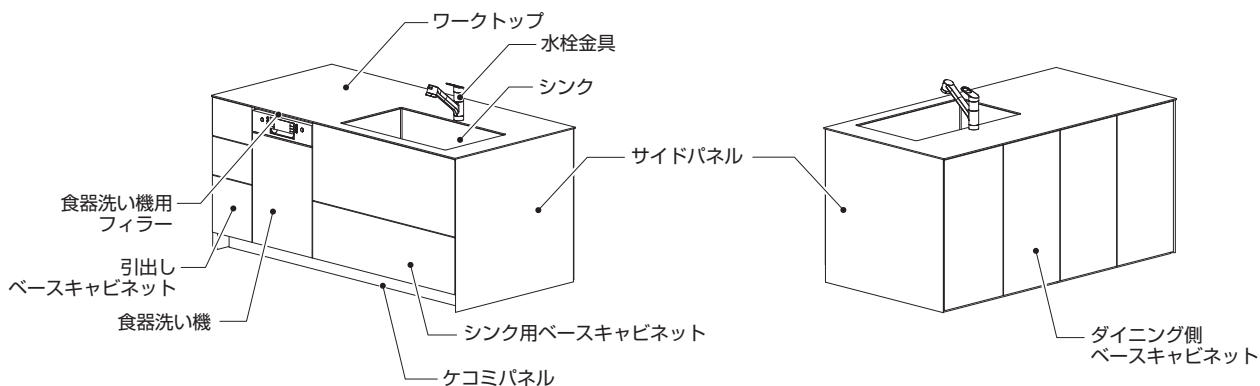


アイランド型プラン

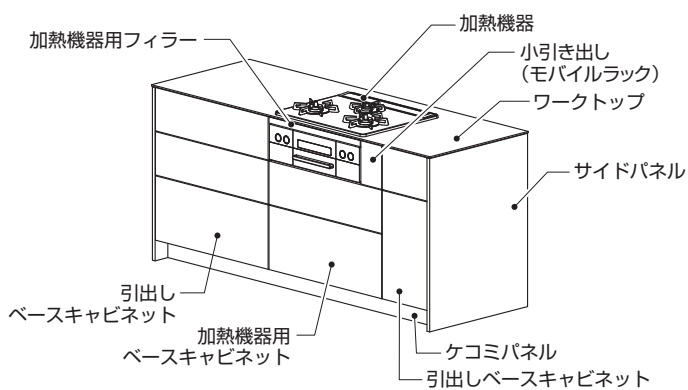
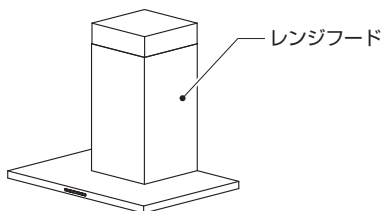


II型プラン

シンク側

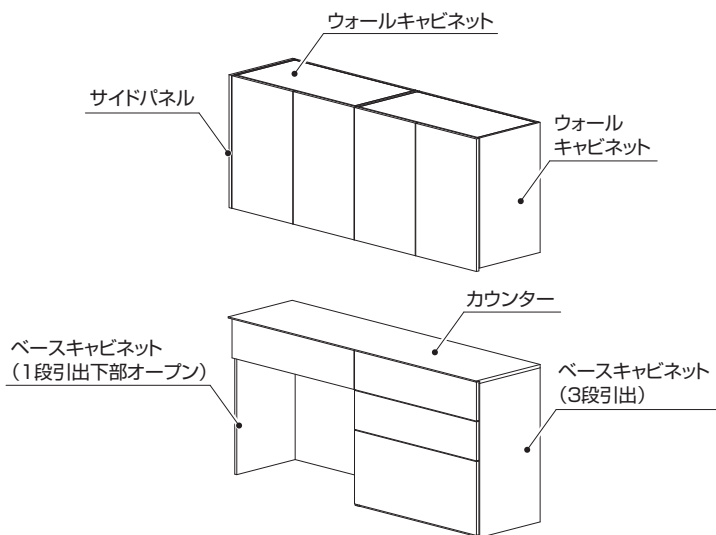


加熱機器側

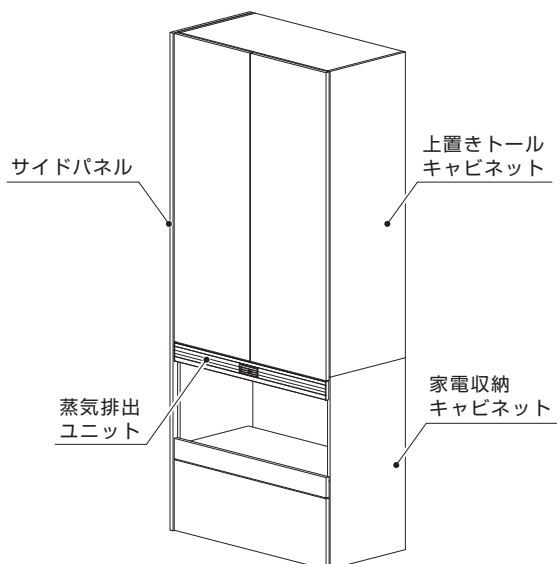


カップボード

カウンタータイプ





トールタイプ



2 安全上のご注意 [必ずお守りください]

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。

 警告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」をいう。



■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

 この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。	 この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。
---	---

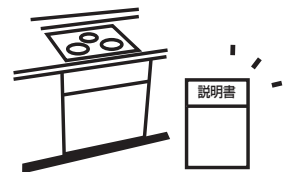
警告

キッチンに組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの機器に添付されている取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。特に長期間不在にする場合は、ガスの元栓の確認などをしっかり行ってください。

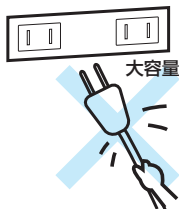
IHクッキングヒーターでは材質や底の形状などによって、使える鍋と使えない鍋があります。新しく購入するときは、財団法人「製品安全協会」のSGマーク   のある鍋、またはあっせん鍋をおすすめします。

※保証期間、内容についても各機器についている保証書をご確認ください。



電源コンセントの表示容量（ワット）をこえる電気器具は使わないでください

たこ足配線などで容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。



加熱機器の使用後やお出かけのときは、スイッチが「切」になっていることを確かめる

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になることがあります。



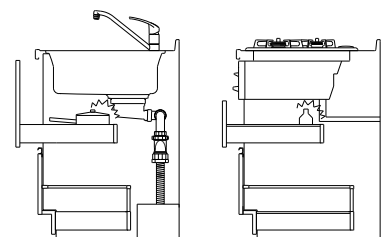
加熱機器の上や周りには燃える物を絶対に置かない

スイッチの切り忘れなどにより着火し、火災の原因になることがあります。



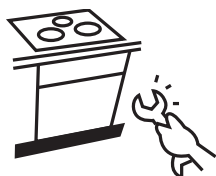
引き出しに収納する際は、収納物がガス管や給排水の配管に干渉しないよう注意してください

収納物と配管が接触し、ガス漏れ・水漏れや破損の原因になります。



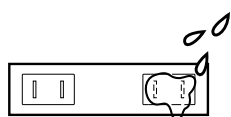
絶対に分解・修理は行わない

ケガや故障、事故の原因となります。修理は購入店へご相談ください。



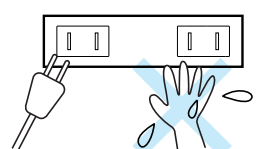
コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



濡れた手でコンセントや電源プラグに触れない

感電の恐れがあります。

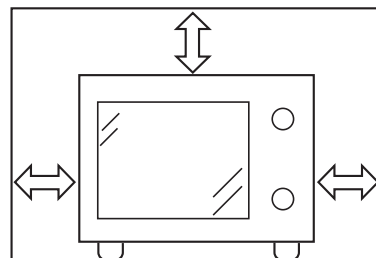


警告

電子レンジなどを置く場合は、天面、後面、両側面に器具指定の空間を設けてください。

離隔距離がないと、給排気が十分にできず、加熱して発火する恐れや故障の原因になります。それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください。

離隔距離を充分取ってください。



カウンターをしまう際は、電源コードを挟まないように注意する

断線し火災の原因になることがあります。

スライドカウンター上で高温になるものは使用しない

トースター、魚焼き器、ホットプレートなど使用時に高温になるものをスライドカウンター上で使用しないでください。火災の恐れがあります。

注意

塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し、漏水の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他の薬品類それぞれの、容器などに表示されている注意事項を必ずご覧ください

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器が傷み、水漏れ事故や、故障の原因となることがあります。



加熱機器の使用時、使用直後は、加熱機器周辺に手をふれないでください

加熱機器周辺の表面温度が高くなっているので、やけどの恐れがあります。



混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出してください

水栓および熱湯でやけどをする恐れがあります。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。



不安定な場所でまな板を使用しない

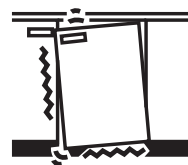
まな板は、不安定な場所での使用や、シンクでの渡し掛け使用はやめてください。ケガや破損の原因になります。
※ V・H・SPシンクと調理プレートをご使用の場合を除く。

ワークトップやシンク等に食品を直接置かない

衛生的な調理のため、また製品のキズ・劣化防止等のためまな板、トレー、ボウル、ざる等の調理器具をご使用ください。

扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番のビスを締めなおしてください

扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。26ページのビス A、B、C をしっかり固定してください。



⚠ 注意

⊘ 上に乗らない

事故や破損の原因になります。



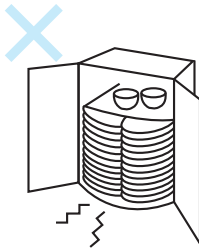
⊘ 扉や引き出しに乗らない

扉や引き出しに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



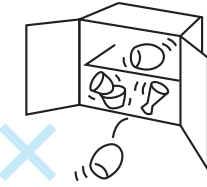
⊘ 重い物を載せない

変形や破損の原因となります。載せすぎたり、一か所に集中させないで平均して載せてください。各部材の耐荷重については14ページを参照ください。破損してケガの恐れがあります。



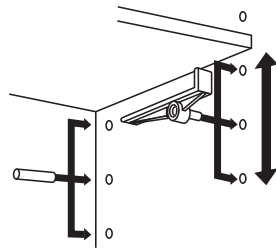
⊘ 転がりやすい物を入れたり、不安定な積み方をしない

収納物が転がり落ちてケガをしたり、破損の原因となります。



⚠ 棚受けダボはしっかり差し込む

棚板は可動式です。棚板を外し、棚受けダボをお好みの位置に移動してください。棚受けダボはすき間のないように奥まで差し込んでください。棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

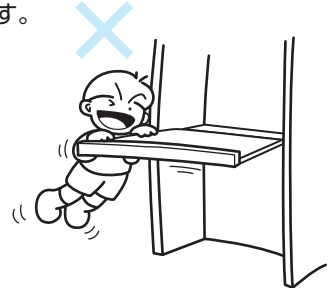


⊘ 扉を大きく開けすぎない

扉がはずれて、ケガをする恐れがあります。

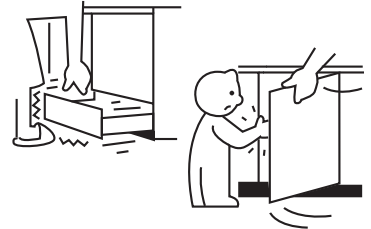
⊘ のったりしない

スライド棚を引き出した状態のときは、スライド棚に寄りかかったり、登ったり、ぶらさがったり、腰かけたり、ぶつからないようご注意ください。ケガをする恐れがあります。



⚠ 引き出しや扉の開閉に注意

扉・蝶番や引き出しで、手足や指を挟まないように気をつけて開閉してください。ケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



⊘ 扉を開けたままにしない

頭をぶつけてケガをしたり、収納物が落下して、破損やケガをする恐れがあります。



⊘ 収納物が入ったまま引き出しを外さない

収納物が落下してケガをする恐れがあります。



3 ワークトップ・カウンター (マット調クォーツ・セラミック)

ワークトップ・カウンター

使用上の注意

⚠ 注意

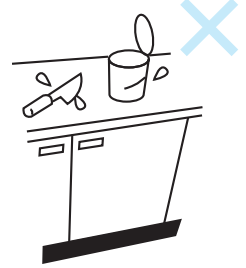
⊘ 塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムを腐食・劣化し、漏水の原因になります。誤って使用したときは、すぐに水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きしてください。



ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰、鉄製の鍋などを長時間放置すると、サビが付着(もらいサビ)します。



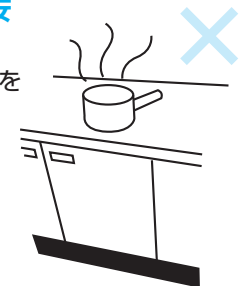
汚れや塩分はすぐ洗い流す

放置すると汚れが落ちにくくなり、サビや変色の原因になります。醤油・食酢・調味料・煮ごぼれなどの汚れはすぐに洗い流し、乾拭きをしてください。



⊘ 熱い鍋などを直接置かない

沸騰したヤカンや熱したフライパンを置くときは、必ず鍋敷きをご使用ください。ヒビ割れ、変色、フクレの原因となります。



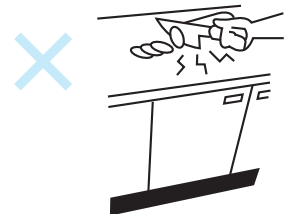
衝撃を与えない

鋭利な物や、鍋などの重い物を落とすと、へこみやキズになります。



包丁などを直接使用しない

包丁やナイフなどの刃物を、直接当てると表面が傷つきます。必ずまな板をご使用ください。



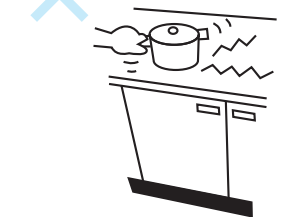
金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗いクレンザーなどを使用しないでください。キズが付き、光沢がそこなわれる恐れがあります。



鍋などを引きずらない

鍋や大皿などを引きずると、表面が傷つきますので避けてください。



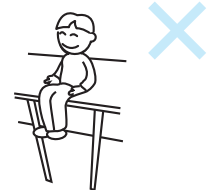
塩ビ系ゴム製品を放置しない

輪ゴム、ゴムベラなどを長時間放置すると変色の恐れがあります。



⊘ 上に乗らない

事故や破損の原因になります。



⊘ 殺菌灯などの紫外線照射器の光を直接照射しない

変色、劣化の恐れがあります。

お手入れ方法

1日の終わりには…

水洗いをし、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

週に1度は…

台所用洗剤をスポンジに付けて汚れを落としてください。水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

調味料や油などをこぼしたら…

すぐに拭き取ってください。その際、強くこすらないでください。

床や壁などを汚したり、ぬらしてしまったら…

すぐに拭き取ってください。

放置するとシミや膨れなどが発生する恐れがあります。

くもりが出たら…

水拭きでしっかり洗剤を取り除いた後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

※クリームクレンザーを使用しないでください

汚れが目立つ…

スポンジに台所用洗剤をつけて、汚れを拭き取ってください。

落ちにくい場合は円を描くようにやさしく拭き、その後、水拭きし、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

※クリームクレンザーを使用しないでください



水切りかごの汚れがついた…

※人工大理石シンクの場合

水切りかごを擦って移動させると、汚れが付着することがあります。その場合、市販のメラミンフォームもしくは、クリームクレンザーで落としてください。

お手入れ上の注意

⚠ 注意

酸性、アルカリ性、塩素系洗剤、漂白剤、ワックス成分を含む洗剤、酸類などを使わない

酸性、アルカリ性、塩素系洗剤、漂白剤、ワックス成分を含む洗剤、酸類などを絶対使用しないでください。

サビの原因となります。

また、アセトン、シンナーなどの溶剤も絶対に使用しないでください。変色・変質する恐れがあります。



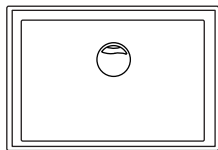
金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗いクレンザーなどを使用しないでください。キズが付き、光沢がそこなわれる恐れがあります。

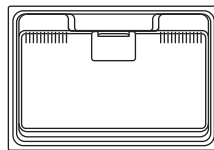


シンク形状

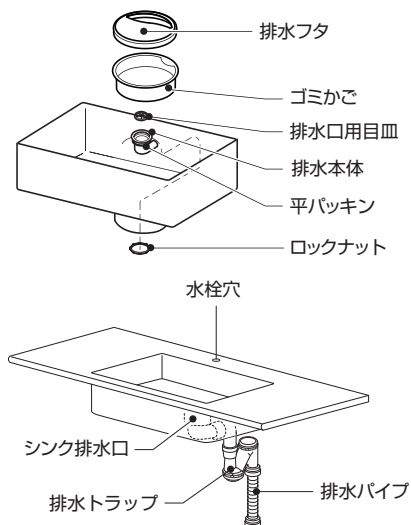
SPシンク
(スリーレイヤード
シンク)



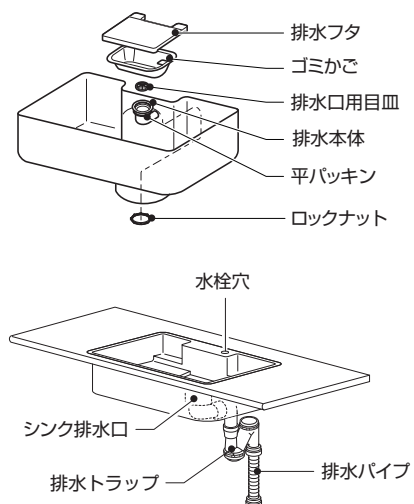
Hシンク
(スリーレイヤード
シンク)



(SPシンク用)



(Hシンク用)



使用上の注意

⚠ 注意

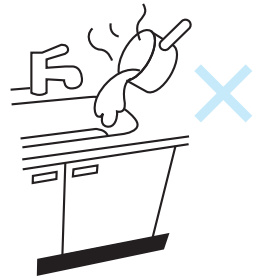
ぬれた鉄製品を放置しない

ぬれた包丁や缶詰などをシンクに放置しないでください。変色やサビが移る(もらいサビ)恐れがあります。



🚫 熱い物を流さない

高温のお湯などを直接シンクに流すと、ゴム・プラスチック部分の変形・破損、水漏れの原因となります。水と一緒に流してください。



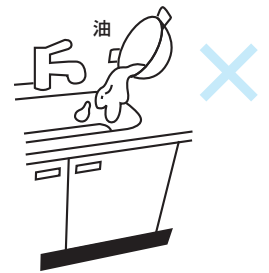
汚れや塩分はすぐ洗い流す

放置すると汚れが落ちにくくなりサビや変色の原因になります。醤油・食酢・調味料・煮こぼれなどの汚れや塩分の強い物はすぐに洗い流してください。



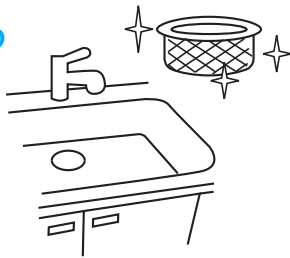
🚫 油類は流さない

環境保護のため油類は流さないでください。パイプ内壁に付着して、パイプが詰まり漏水や、水がこぼれる恐れがあります。



ゴミはこまめに捨てる

ゴミをためすぎると臭気のもとになります。水の流れも悪くなりますので、ゴミはこまめに捨ててください。



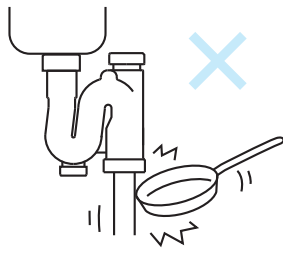
結露に注意する

大量の氷や冷凍食品を直接置き、長時間放置しないでください。結露する恐れがあります。



🚫 排水セットに衝撃を与えない

変形・破損、水漏れの原因となります。



🚫 不安定な場所でまな板を使用しない

まな板は、不安定な場所での使用や、シンクでの渡し掛け使用はやめてください。

ケガや破損の原因になります。

※調理プレートをご使用の場合を除く

⚠ あけたキャップは確実に締める

排水の流れが悪い場合には、排水トラップ下のキャップを外し、掃除してください。

また、キャップを元に戻すときには、必ず、キャップの中に黒色のパッキンが付いているのを確認してから確実に締めてください。

水漏れし、拡大損害の恐れがあります。



🚫 シンクの上に乗らない

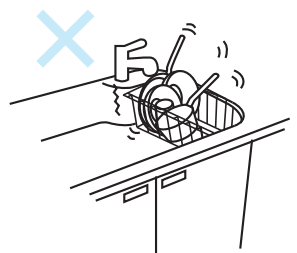
事故や破損の原因となります。

⚠ 転倒に注意する

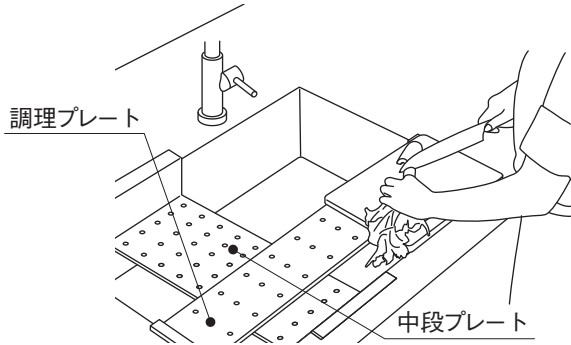
水切りかごなどのシンクまわりオプションは、載せすぎたり、1カ所に集中させないで平均して載せてください。

バランスがくずれて、

ケガをする恐れがあります。



SPシンクオプション品の使い方

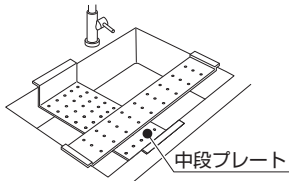


⚠️ 注意



- 調理プレート・中段プレートは、キズ防止や安全のため引きずらずに持ち上げて移動させてください。特に物を載せた状態での移動はしないでください。荷重がかかった状態でプレートをスライドさせると、キズ防止テープが剥がれたり、シンクにぶつかって音が鳴ったり、傷が付いてしまったりする恐れがあります。

中段プレート…………… シンク内を活かし、ワークトップより一段低く設置できる
(耐荷重：5kg) 「中段プレート」で、野菜の水切りやパスタの湯切り時も水がこぼれず安心です。



<設置について>

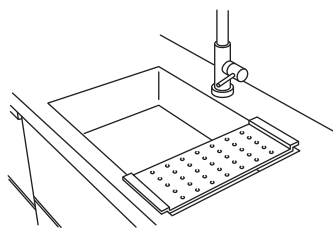
- ・シンク内のデッキ部分に中段プレートを設置してください。
- ⚠️ ・しっかり固定できたか、確認してからご使用ください。
- ・5kg以上、載せないでください。

⚠️ 注意

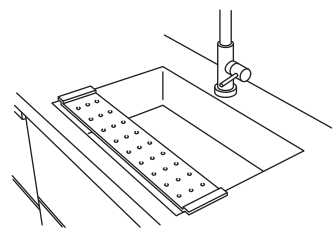


- お湯の入った鍋などを中段プレートの上には置かないでください。
- 中段プレート上で包丁などの刃物類は使用しないでください。
- 中段プレート上でまな板を置いて作業をしないでください。ヤケドやケガをする恐れがあります。

調理プレート……… シンク上段に設置する調理プレート。まな板を使った切る作業や調理道具・食器等の水切りなど多目的に使えます。タテ置き型とヨコ置き型の2タイプをご用意しました。



タテ置き型

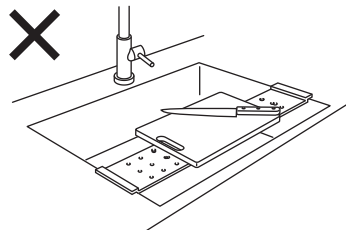
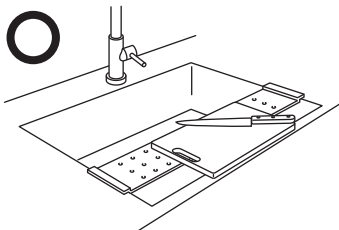


ヨコ置き型

⚠️ 注意



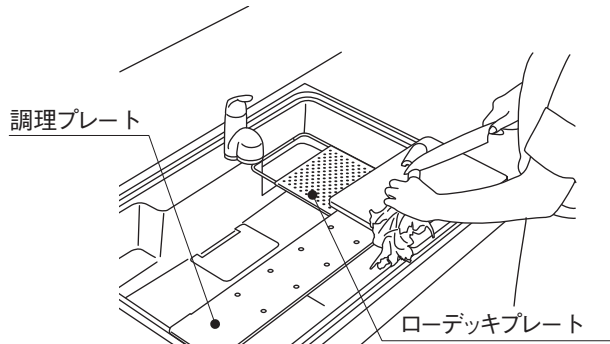
- 調理プレート上でまな板を使用する場合は、必ずワークトップにまな板がかかるように設置し、安定した状態で作業してください。不安定のまま使用すると落下しケガをする恐れがあります。



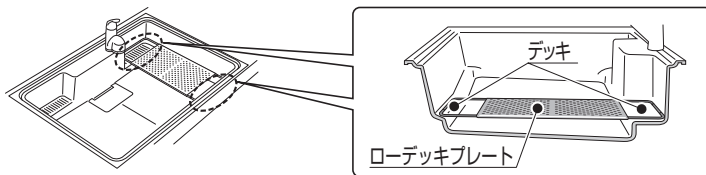
- 硬い物や切りにくい物を切るときに無理な力を加えると、まな板や食材がずぶることがありますのでご注意ください。不安定な物を切る場合はワークトップの上で作業してください。
- 表面を上にして使用してください。プレートがたわみ変形する恐れがあります。
- 重い物をプレートに乗せるときは、偏りなく安定した状態になるようご注意ください。バランスが崩れて落下する恐れがあります。

Hシンクオプション品の使い方

シンク排水口



ローデッキプレート… シンク内の中段を活かし、ワークトップより一段低く設置できる（耐荷重：5kg）で野菜の水切りやパスタの湯切り時にも水がこぼれず安心です。



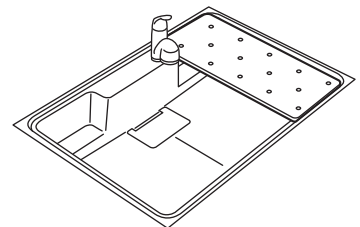
<設置について>

- ・シンク内のデッキ部分にローデッキプレートを設置してください。
- ⚠ ・しっかり固定できたか、確認してからご使用ください。
- ・5kg以上、載せないでください。

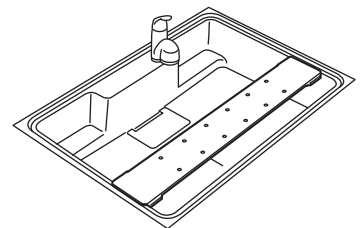
⚠ 注意

- お湯の入った鍋などをローデッキプレートの上には置かないでください。
- ローデッキプレート上で包丁などの刃物類は使用しないでください。
- ローデッキプレート上でまな板を置いて作業をしないでください。ヤケドやケガをする恐れがあります。

水切りプレート… 洗った食器や野菜の水切りなどが可能です。（耐荷重：5kg）



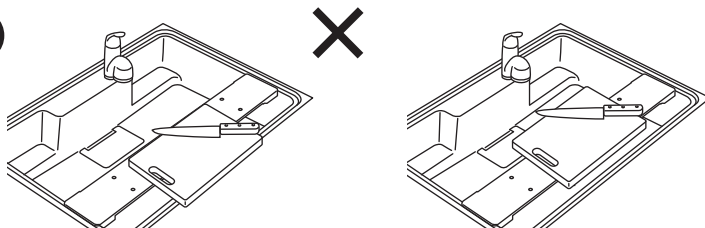
調理プレート… シンク上段に設置する調理プレート。まな板（耐荷重：20kg）を使った切る作業や調理道具・食器等の水切りなど多目的に使えます。



⚠ 注意



- 調理プレート上でまな板を使用する場合は、必ずワークトップにまな板がかかるように設置し、安定した状態で作業してください。不安定のまま使用すると落下しケガをする恐れがあります。



- 硬い物や切りにくい物を切るときに無理な力を加えると、まな板や食材がずぶることがありますのでご注意ください。不安定な物を切る場合はワークトップの上で作業してください。
- 表面を上にして使用してください。プレートがたわみ変形する恐れがあります。
- 重い物をプレートに乗せるときは、偏りなく安定した状態になるようご注意ください。バランスが崩れて落下する恐れがあります。

お手入れ方法

シンク

1日の終わりには…

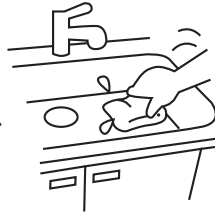
水拭きをした後、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

ちょっとした汚れは…

スポンジに台所用洗剤を付け、洗ってください。

その後、水で洗い流し、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。



ザラつきが気になる…

水を少し含ませたスポンジにクリームクレンザーを付け、汚れを落としてください。

水で洗い流し、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

扉やキャビネットに飛び散らないように使用してください。



サビが出た!!

市販のメラミンフォームもしくはクリームクレンザーなどで、ていねいに、サビを落としてください。

サビを拭き取ったら、水で洗い流し、よく拭き取った後、乾拭きをしてください。

水気を残すとサビや水あかが発生する恐れがあります。

扉やキャビネットに飛び散らないように使用してください。



排水トラップ

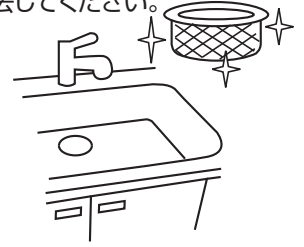
1日の終わりには…

ゴミかごにたまったゴミをきれいに処理してください。また、ゴミかごのまわりのゴミも除去してください。

ちょっとした汚れは…

スポンジに台所用洗剤を付けて汚れを落としてください。

特に油を使う料理をした日は汚れやすいので念入りに行ってください。



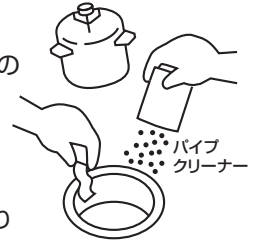
3~6カ月に1度程度

排水トラップの汚れを取るために、市販のパイプクリーナーをご使用ください。

排水の流れが悪い…

まず、わんを外し、トラップ部に詰まっている野菜くずや汚れ、ゴミかごの目詰まりを取り除きます。それでも流れが悪い場合は、わんを外してからパイプクリーナーをご使用ください。

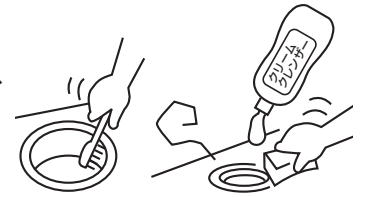
※市販のパイプクリーナーをご使用の際は、使用方法をよく読んでから使用してください。ステンレス部分にはパイプクリーナーを付着させないでください。付着するとサビの原因になりますので付着した場合は、すぐに水洗いして、拭き取ってください。また、パイプ部分にパイプクリーナーを付着させたままにしないでください。



ヌメリが気になる…

スポンジや歯ブラシにクリームクレンザーを付けて、ヌメリを落としてください。

その後、水でよく洗い流してください。



お手入れ上の注意

⚠ 注意

ヌメリ取り剤などを使わない

市販のヌメリ取り剤は、塩素ガスを発生させ、シンクや周辺のステンレスが錆びる恐れがありますので使用しないでください。



金属たわしや粒子の粗いクレンザー、金属磨き剤などを使用しない

金属たわし、ナイロンたわし、粒子の粗いクレンザー類を、使用しないでください。表面が傷つき、光沢や表面コートがそなわれる恐れがあります。



塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを使わない

塩素系洗剤、漂白剤、酸類などを絶対使用しないでください。サビの原因となります。



使用上の注意

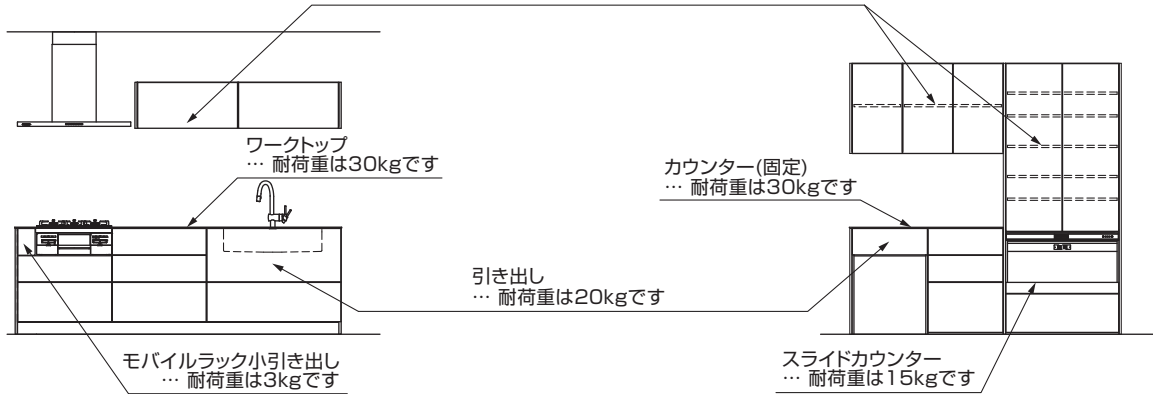
⚠ 注意



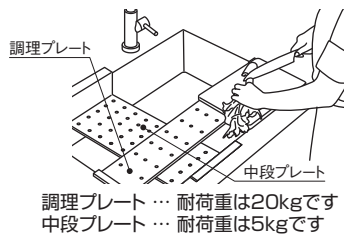
重量規定を守る

重い物を載せすぎたり、1カ所に集中して置かないでください。
破損してケガをする恐れがあります。

キャビネット(棚板・底板) … 耐荷重は20kgです
※ ダイニング用ベースキャビネット(棚板) … 耐荷重は10kgです

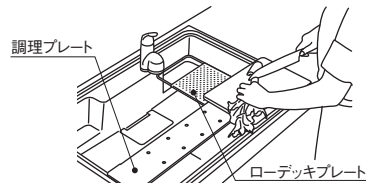


【SP(スクエア)シンクオプション】



調理プレート … 耐荷重は20kgです
中段プレート … 耐荷重は5kgです

【H(人工大理石)シンクオプション】



調理プレート … 耐荷重は20kgです
ローデッキプレート(水切りプレート)、
サポートメッシュ … 耐荷重は5kgです

▼重量のめやす

ざるセット(大・中・小) …… 約0.7kg
ボウルセット(大・中・小) …… 約0.8kg
寸胴鍋 …… 約3.5kg

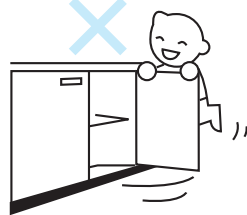
両手鍋(大) …… 約2.0kg
両手鍋(中) …… 約1.5kg
フライパン(直径25cm) …… 約1.0kg

大皿 (直径35cm) …… 約1.0kg
中皿 (直径25cm) …… 約0.5kg
小皿 (直径16cm) …… 約0.2kg



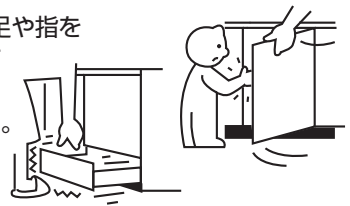
扉や引き出しに乗らない

扉や引き出しに乗ったり、ぶら下がったりしないでください。蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



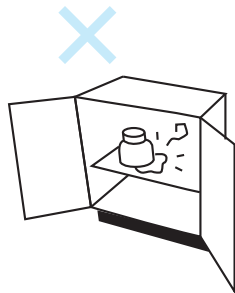
引き出しや扉の開閉に注意

扉・蝶番や引き出しで、手足や指を挟まないように気をつけて開閉してください。ケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



汚れたままにしない

油・調味料など食品の汚れは、サビや腐食、カビの原因となりますので早めに拭き取ってください。



ぬれたままにしない

木部が水を含み傷んだり、レールや蝶番、ステンレスが錆びる恐れがありますので、しっかり拭き取ってください。



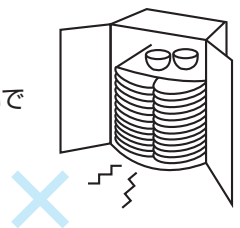
包丁差しの使用について

包丁差しの差し込み溝の中に、包丁の刃を確実に納めてください。お子様がさわらないようにご注意ください。ケガをする恐れがあります。



重い物を載せない

変形や破損の原因となります。載せすぎたり、一カ所に集中させないで平均して載せてください。各部材の耐荷重については上記を参照ください。破損してケガの恐れがあります。



扉を大きく開けすぎない

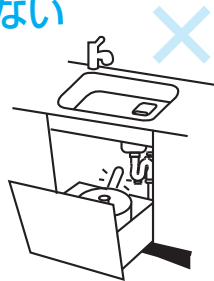
扉がはずれて、ケガをする恐れがあります。

使用上の注意

⚠ 注意

❌ 排水トラップ前に 大きな物を収納しない

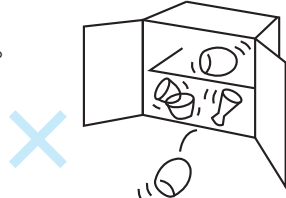
扉を閉めたときに排水トラップにぶつかり、キズが付いて水漏れする恐れがあります。
鍋などは取っ手の向きにご注意ください。引き出しに取り付けられている配管ヨケの上に物を置かないでください。



[シンク用ベースキャビネット]

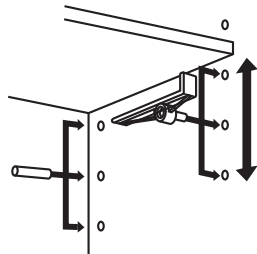
❌ 転がりやすい物を入れたり、 不安定な積み方をしない

収納物が転がり落ちてケガをしたり、破損の原因となります。



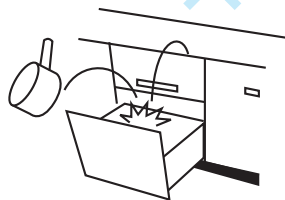
⚠ 棚受けダボはしっかり差し込む

棚板は可動式です。
棚板を外し、棚受けダボをお好みの位置に移動してください。
棚受けダボはすき間のないように奥まで差し込んでください。
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。



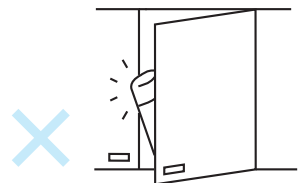
キャビネットにかたい物を 落とさない、ぶつけない

キズがついたり、破損したりする恐れがあります。



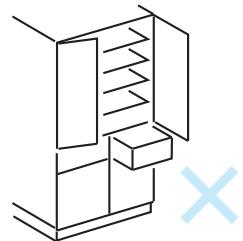
❌ 扉が完全に閉まらないような 収納はしない

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。



⚠ 上下の扉や引き出しを 同時に開けない

扉と引き出しを同時にあけると指を挟んで思わぬケガをしたり、扉が干渉し、キズが付く場合があります。



⚠ 食器洗い乾燥機と下の引き出しを 同時に開けない

下に引き出しがある食器洗い乾燥機をご使用になる場合、下の引き出しを同時にあけると指を挟んで思わぬケガをしたり、扉が干渉してキズがつく場合があります。

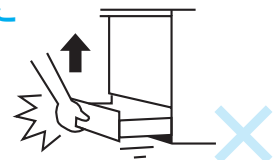
❌ 収納物が入ったまま 引き出しを外さない

収納物が落下してケガをする恐れがあります。



引き出しは水平方向に 引いて開ける

引き出しは水平方向に引いて開けてください。上方向に引っ張りながら開けると、上の扉に当たってキズがつく恐れがあります。



使用上の注意

⚠ 注意

開き扉の開き勝手を間違えたり、開かない扉を引っ張らないよう注意する

指先をすべらせ、ケガをする恐れがあります。

引き出しの閉まり方について

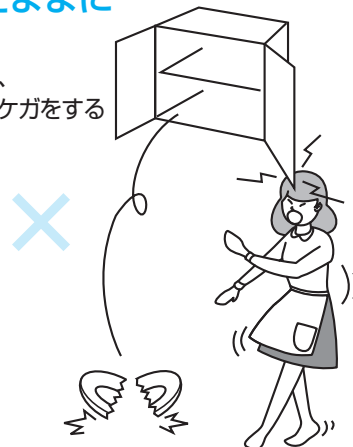
引き出しの大きさや、収納物などにより引き出しの閉まる速度が変わります。

引き出しの開き方について

収納物の状況や開け方によっては斜めに開く場合があります。

⊘ 扉を開けたままにしない

頭をぶつけてケガをしたり、収納物が落下して、破損やケガをする恐れがあります。



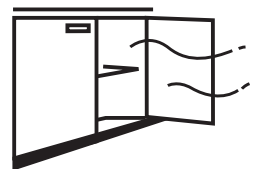
お手入れ方法

- 中の物を取り出して、掃除機かほうきを使って隅々までゴミを取ります。
- 薄めて作った台所用洗剤液を布に含ませ、固く絞り、軽く拭き取ってください。
その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。
※油・調味料・食品の汚れを放置していると、サビや腐食、カビの原因になりますので早めに拭き取ってください。



湿気・臭気対策

湿気がこもりやすい場所なので、時々扉を開けて、換気をよくしましょう。
消毒用エタノールを含んだ、固く絞った布で拭いてください。



お手入れ上の注意

⚠ 注意

ぬれたままにしない

湿気がこもるとカビや臭気の原因となります。
また、引き出しレールや蝶番などのサビの原因にもなります。
水拭きした後は必ず乾拭きし、乾くまで扉は開けておきましょう。



使用してはいけないもの

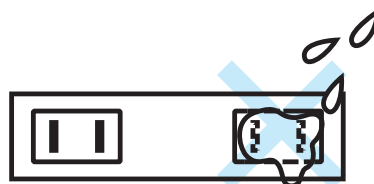
- アセトン、シンナーなどの溶剤
- 研磨剤の入った洗剤などは表面を傷めます。



⚠ 警告

⊘ コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



食器洗い機、食器洗い乾燥機使用上の注意



警告

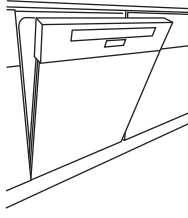
！ 食器洗い乾燥機、食器洗い機は、製品に添付されている取扱説明書および本体の注意表示をよく読んで使用する

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となる恐れがあります。

食器洗い機は、すすぎ後の余熱を利用した乾燥行程がありますが、ヒーターとファンによる乾燥のみのコースはございません。

！ めれたままにしない

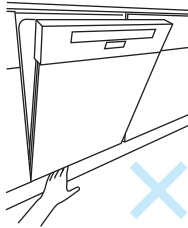
食器洗い機周辺のキャビネット、扉、取っ手、ワークトップ等に水滴や蒸気が付着した場合はすぐにふき取ってください。フクレや変色、サビなどの恐れがあります。



運転中の乾燥行程に自動的にドアを開放し、蒸気を放散する機種の場合は、特にご注意ください、こまめに水滴の拭き取りをしてください。(運転終了の表示時間よりも早くドアが開放される場合があります)

！ ドアの開閉に注意する

食器洗い機のドアを開閉する場合は、前方や周囲に障害物がないことをご確認ください。ぶつかって破損したりケガをする恐れがあります。

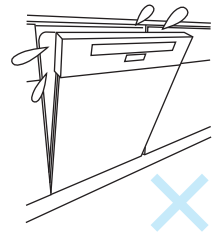


食器洗い機の扉と、ケコミとの間に指等を挟まないようご注意ください。

特に、食器洗い機のドアを開閉する際はご注意ください。

⊘ 洗浄中はドアを開けない

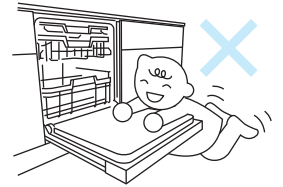
湯が飛散することがあるので、洗浄中はドアを開けないでください。熱湯によるやけどの恐れがあります。



⊘ 開いているドアに乗らない

食器洗い機のドアが開いていると、ぶつかる場合があります。不用意に開けたままにしないようご注意ください。

開いているドアに座ったり、寄りかかったり、食器洗い機に入ったりしないでください。食器洗い機が傾いてケガをしたり、食器洗い機が損傷する可能性があります。



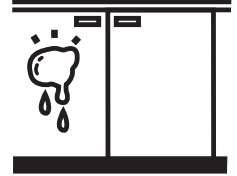
使用上の注意

⚠ 注意

ぬれたり汚れたままにしない

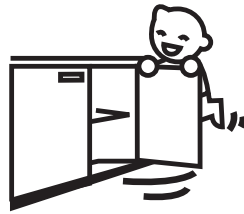
■ 塗装扉・天然木扉の取り扱いについて
 塗装扉・天然木扉は、一般的なシート扉に比べて取り扱いに注意が必要です。水がかかったまま放置をすると扉内部に水がしみこんで、ひび割れや膨れが発生することがありますのでこまめに抜き取ってください。
 調味料や食品などの汚れは、放置すると取れにくくなりますので、速やかに拭き取ってください。また、取っ手にタオルをかけて使用しないでください。濡れたタオルをかけたままにすると、扉内部に水分がしみこんで、ひび割れや膨れが発生することがありますのでご注意ください。

■ シート扉(塗装扉・天然木扉以外)
 シート扉は、耐水性や耐汚染性に優れていますが、水に濡れたまま放置をすると、木口など継ぎ目の部分から扉に水がしみこんで膨れが発生することがありますので、必ず水を拭き取ってください。調味料や食品などの汚れは、放置すると取れにくくなりますので、速やかに拭き取ってください。



ぶら下がったり、乗ったりしない

蝶番やレールがこわれると落下してケガをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。

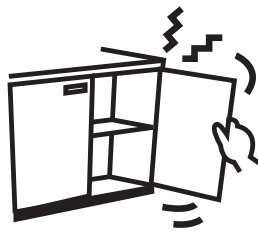


扉に鋭利なものをぶつけない

キズがついたり、破損したりする恐れがあります。

やさしく開閉する

扉は軽く開閉できますので、あまり強い力を入れずに開閉してください。
 扉を開閉する時は周囲の物に当てないように気を付けてください。



シールやテープ類を貼らない

粘着剤で表面が侵されます。また、はがした後、汚れが残る恐れがありますので貼らないでください。



お手入れ方法

ちょっとした汚れは…

柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れが気になる…

固く絞った布で拭いた後、乾拭きします。

しつこい汚れは…

中性台所用洗剤液をぬるま湯で薄めます。柔らかい布に含ませ、目立たない部分で、異常が無いことを確認してから汚れている部分を拭いてください。
 その後、水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。
 ※ご使用前に必ず洗剤の裏面に書かれている注意事項を確認してから、ご使用してください。



お手入れ上の注意

⚠ 注意

洗剤を拭き残さない

中性台所用洗剤が扉に付着したまま放置されると、表面がはがれたり、扉が膨れたりする原因となります。付着した洗剤は水拭きで洗剤分が残らないようにしっかり拭き取り、最後に乾拭きをしてください。



塩素系の洗剤・漂白剤、有機溶剤(アセトン、シンナー、アルコール等)などを使わない

塩素系洗剤・漂白剤、シンナーなどの有機溶剤、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色や光沢をなくしたり表面を傷めます。



7 引き出し

使用上の注意

⚠ 注意

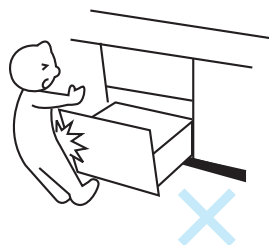
⚠ 地震の際は、近づかない

地震の際には、速やかに引き出しの前からはなれてください。揺れにより引き出しが開き、ケガをする恐れがあります。



⊘ 使用目的以外では開けない

使用目的以外の方が周りにいる場合、誤って引き出しを開けると、ぶつかったり、ケガをしたりする恐れがあります。特にお子様には気を付けてください。



⚠ 閉める際は確実に閉める

閉まる途中のままの場合、意図せずに引き出しが開き、ぶつかったり、ケガをする恐れがあります。

⊘ 物を持った状態で開けない

沸騰した鍋や包丁などを持ったまま引き出しを開閉しないでください。鍋や包丁などを落としたり、ケガをする恐れがあります。



⚠ 高いところの収納物の出し入れで、扉を押さない

ウォールキャビネットや高いところから収納物を出し入れする場合は扉を押さないようにしてください。意図せずに扉が開き、収納物を落としたり、ケガをする恐れがあります。



⊘ 寄りかからない

引き出しが閉まった状態のときは引き出しに寄りかからないようにご注意ください。意図せずに引き出しが開き、ぶつかったり、ケガをする恐れがあります。

警告

コンセントをぬらさない

感電や火災の原因になることがあります。



スライドカウンター上で高温になるものは使用しない

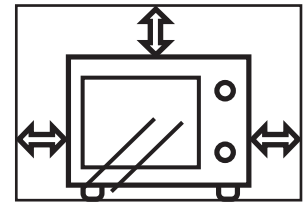
トースター、魚焼き器、ホットプレートなど使用時に高温になるものをスライドカウンター上で使用しないでください。火災の恐れがあります。

電子レンジなどを置く場合は、天面、後面、両側面に器具指定の空間を設けてください。

離隔距離がないと、給排気が充分にできず、加熱して発火する恐れや故障の原因になります。

それぞれの機器に添付されている取扱説明書および本体の注意表示を必ずご覧ください。

離隔距離を充分取ってください。



カウンターをしまう際は、電源コードを挟まないように注意する

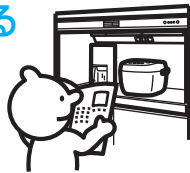
断線し火災の原因になることがあります。

使用上の注意

注意

蒸気排出ユニットは製品に添付されている取扱説明書および本体の注意表示をよく読んで使用する

使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。



電源コンセントの表示容量(ワット)をこえる電気器具は使わない

容量をこえて使用すると電源コンセント部が発熱し、火災の恐れがあります。

のったりしない

スライド棚を引き出した状態のときは、スライド棚に寄りかかったり、登ったり、ぶらさがったり、腰かけたり、ぶつからないようご注意ください。ケガをする恐れがあります。



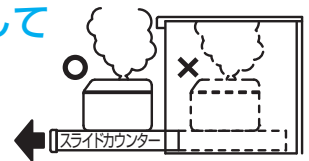
カウンターを引き出す際は、ゆっくりと引く

勢いよく引くと、電化製品などが転倒する恐れがあります。



スライドカウンターで炊飯器等をご使用の際はスライドカウンターを必ず引き出してください

庫内に蒸気がこもり結露する恐れがあります。

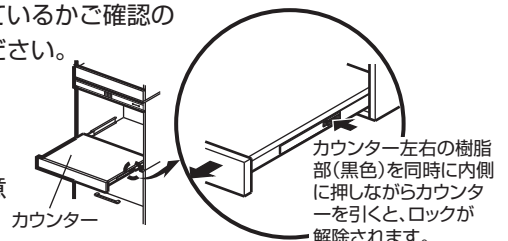


外し方・取り付け方

スライド棚は取り外しができます。

サイドレールの樹脂製ストッパーを左右共に押さえながら引き出せば簡単に外れます。取り付ける場合は、サイドレールに差し込んでスライド棚を奥まで押し込んでください。確実に収まっているかご確認のうえご使用ください。

スライド棚が重いので、落ちると危険ですのでご注意ください。



カウンター左右の樹脂部(黒色)を同時に内側に押しながらカウンターを引くと、ロックが解除されます。

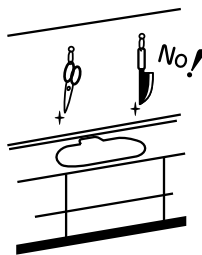
使用上の注意

⚠ 注意



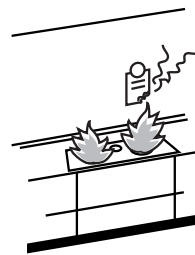
貴重品や壊れやすいもの、
落下して危険なもの
(包丁・はさみ等)
は使用しない

壊れたり落下してケガをする恐れが
あります。



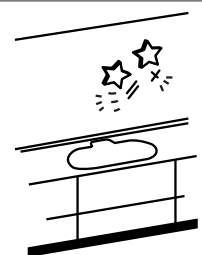
加熱機器付近で
マグネットを使用
しない

留めているメモ等が
燃える恐れがあります。



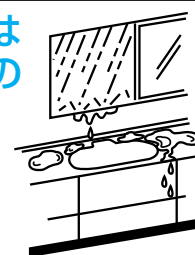
マグネットの形状に注意する

形状によっては、キッチンパネルの表面に
擦り傷が付く恐れがあります。



常時水がかかる、または
溜まるような環境下での
使用はしない

フクレ、サビの原因になります。



マグネットの吸着力を確認した上で使用する

マグネットの種類、大きさによって、保持力が大きく変わります。
貼り付け、引っ掛け時には、マグネットの吸着力を確認してください。



使用上の注意

⚠ 注意



各設備機器は、製品に
添付されている取扱説明書
および本体の注意表示を
よく読んで使用する

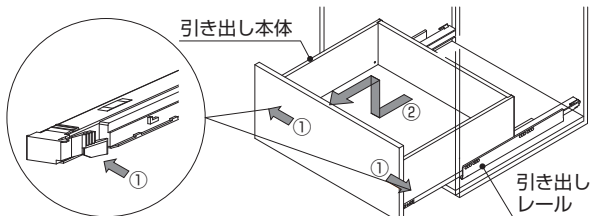
使い方を誤ると、思わぬ事故や、
故障の原因となる恐れがあります。

引き出しの外し方・取り付け方

外し方

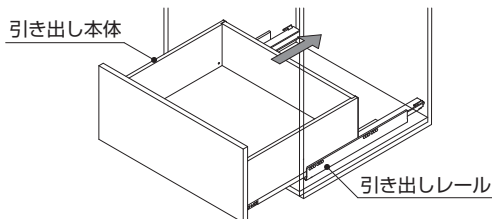
引き出し本体を全開し、

- ① 引き出しレールのレバー部を押しながら
- ② 引き出し本体を手前に引き出します。



取り付け方

- ① 引き出し左右のレールを引き出してください。
- ② 引き出し本体をレールの上に乗せ、カチッと音がするまで、ゆっくり押し込んでください。
- ③ 取り付け後、2~3回開閉を行い、確実に取り付けられていることを確認してください。



⚠ 注意



引き出しを外すときは、完全に引き出してから引き上げて取り外す

完全に引き出せていない場合、レールの不具合が生じる恐れがあります。



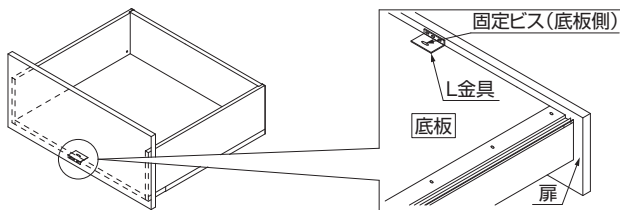
引き出し取り付け後は、引き出しが確実に取り付けられているか確認する

確実に取り付けられていない場合、使用中に引き出しが外れてケガをする恐れがあります。

引き出しの調整方法

引き出し取り付けL金具 ビスを緩める
(間口750mm以上の引き出し)

- ・引き出しを裏返し、底板側のビスを緩める



⚠ 注意

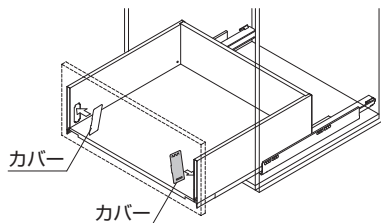


引き出し調整後は必ずビスを締めること

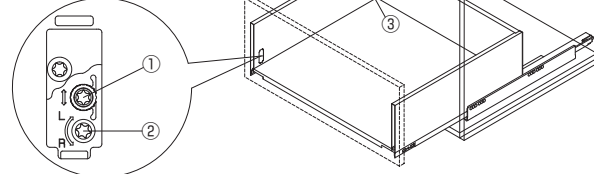
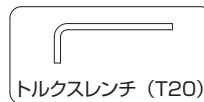
扉と底板の間のスキマの原因や、底板のたわみ発生につながる恐れがあります。

カバーの取り付け、取り外し

調整の際は、カバーを取り外してください。
調整後、カバーを取り付けてください。



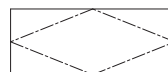
トルクスレンチを使用して、調整してください。



上下調整

- ① ビスを回して前板の上下位置を調整します。

±2.0mm



左右調整

- ② ビスを回して前板の左右位置を調整します。

±1.5mm



傾き調整

- ③ ビスを回して前板の傾きを調整します。



お願い

調整時に電動ドライバーは使用しない

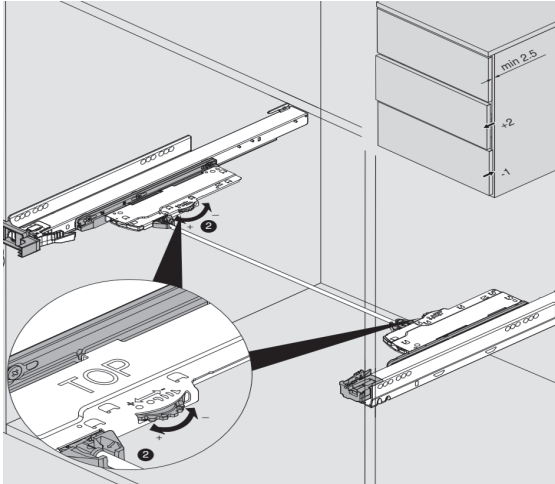
強く締めすぎると本体が破損する恐れがあります。

引き出しの調整方法 (つづき)

引き出しの調整

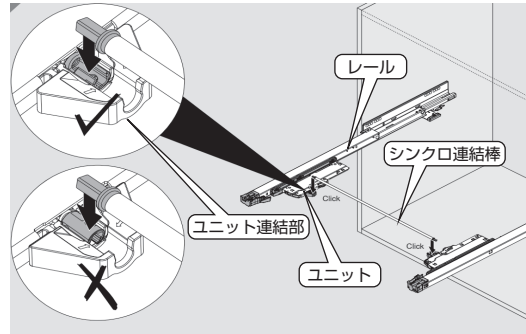
• 扉の前後調整

- ① 引き出しを全開してください。
- ② レール横のダイヤルを回して扉の前後調整をお願いします。(スキマは3mm程度が基準です。)

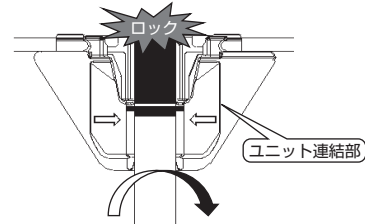


シンクロ棒の取り付け、取り外し

- ① 引き出しが外れている状態でシンクロ連結棒をユニットに取り付けてください。(ユニットの連結部分が空いている状態で取りつきます。)



- ② 取り付け後はシンクロ連結棒を回転させ抜けないように連結部をロックしてください。

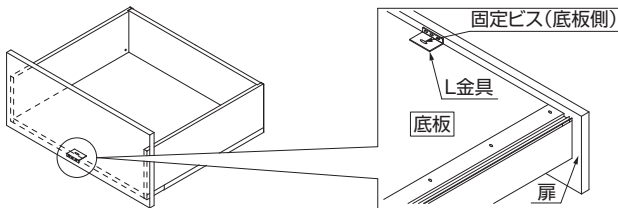


- ③ 外し方は取付の逆手順です。

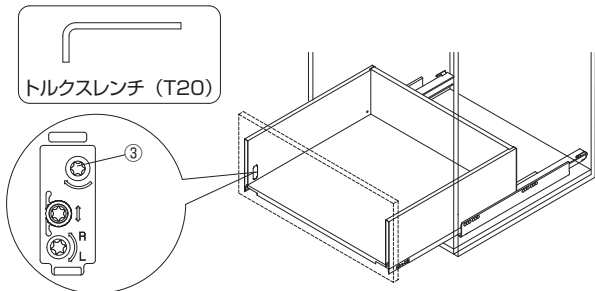
引き出し前板の外し方・取り付け方

外し方

- ① 引き出しの取り外し方法を参照に引き出しを取り外す。
- ② 引き出し取り付けL金具ビスを外す。

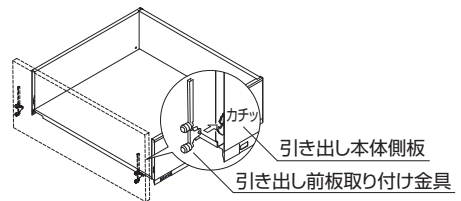


- ③ トルクスレンチを使用してネジを回して扉を外してください。



取り付け方

引き出し本体に引き出し前板を取り付けます。引き出し側板の凹部に、引き出し前板取り付け金具の凸部分をカチッと鳴るまで差し込みます。

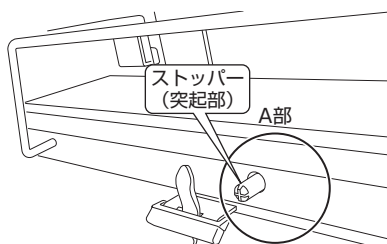


小引き出しベースの外し方・取り付け方

外し方

- ① 小引き出しを引き出し、モバイルラックを全て取り出してください。
- ② 小引き出しベースとレールは A部 (左右にあります) で固定しています。

図1



小引き出し後ろ側から見た状態

- ③ 小引き出しを下から見ると、ストッパーのツメ部が見えます。
- ④ ツメ部を内側に引くと、突起が内側に引き込まれます。(図2のストッパーツメ部を矢印方向に引きます。)

図2

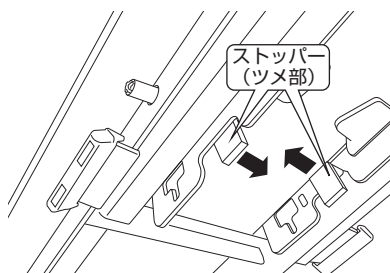


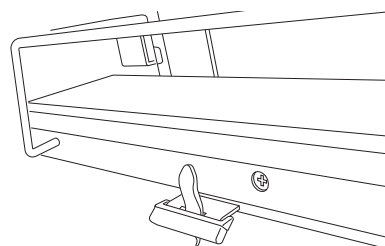
図1を下から見た状態

- ⑤ 小引き出しベースを持ち上げ、手前に引き出すと、レールから取り外せます。

取り付け方

- ① 取り外しと逆の手順で取り付けてください。小引き出しベース背板裏の穴 (図6: 長方形の穴) に、レールの奥にある突起 (図5) を差し込み、正しくレールに載せてからストッパーを掛けてください。

図3



小引き出し後ろ側から見た状態

図4

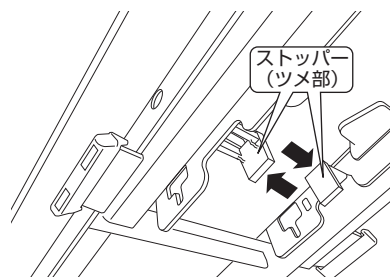


図3を下から見た状態

図5

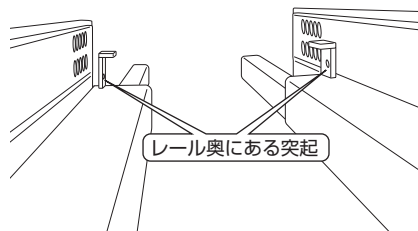
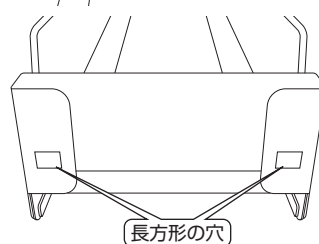


図6



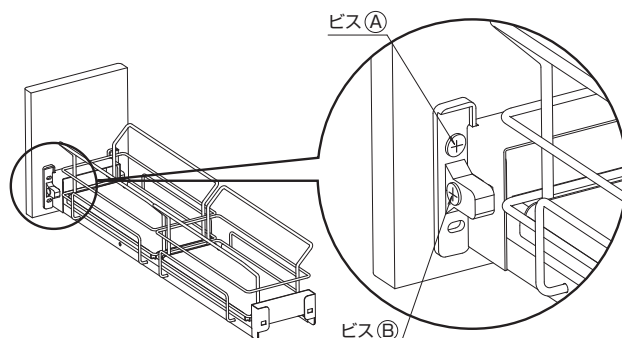
小引き出し扉の調整方法

左右調整 (±1.5mm)

ビス ① を緩めて、前板の左右位置を調整し、締めなおします。

上下調整 (±1.5mm)

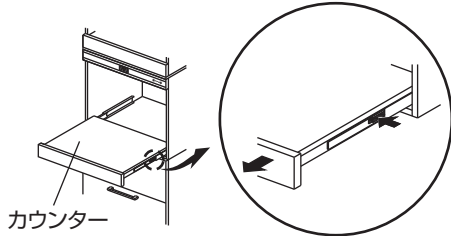
ビス ② を緩めて、前板の上下位置を調整し、締めなおします。



スライドカウンターの外し方・取り付け方

外し方

- サイドレールの黒色樹脂ストッパーを左右同時に押さえながら手前に引き抜く



取り付け方

- スライドカウンターをサイドレールに差し込み、奥まで押し込む

⚠ 注意



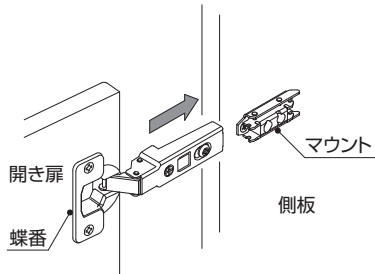
取り付け後、確実に取り付けられているか確認する

確実に取り付けられていない場合、使用中にカウンターが外れてケガをする恐れがあります。

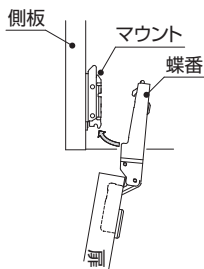
開き扉の外し方・取り付け方

通常開き扉の取り付け

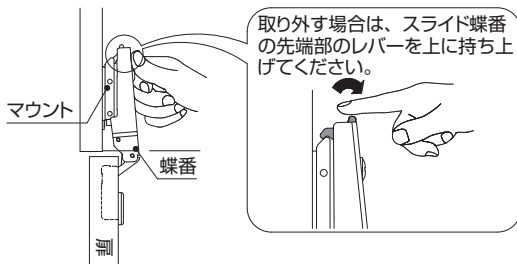
1. 扉の蝶番を開いた状態で結合させてください。



2. マウントの先端部にスライド蝶番の軸を引っ掛けてください。

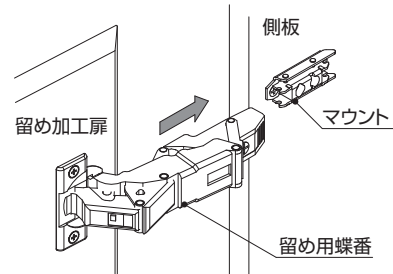


3. パチンと音がするまで確実に押し込んでください。

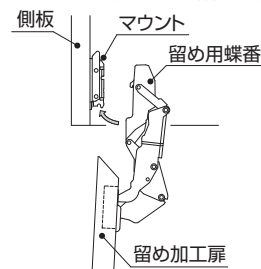


留め加工開き扉の取り付け

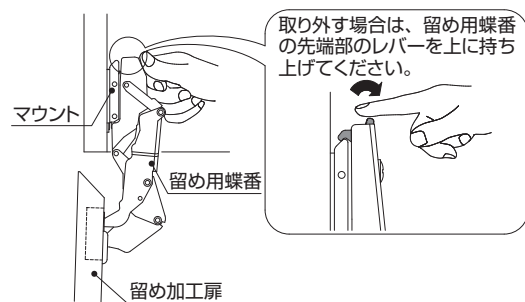
1. 扉の蝶番を開いた状態で結合させてください。



2. マウントの先端部に留め用蝶番の軸を引っ掛けてください。



3. パチンと音がするまで確実に押し込んでください。



⚠ 注意

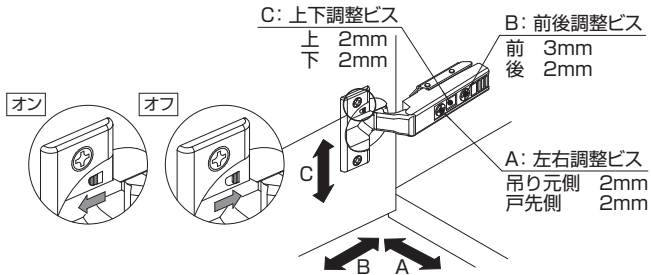


扉が確実に固定されたことを確認してください。
固定されていないと扉が落下してケガをする恐れがあります。

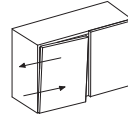
開き扉の調整（通常扉）

ダンパー（蝶番内蔵）の調整

扉の大きさによってオン、オフの切り替え、ブレーキ機構の強さを調整してください。
 下図のように爪の位置を替えて、一度扉を閉じるとオン、オフが切り替わります。

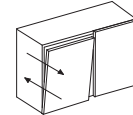


1. 扉の左右調整



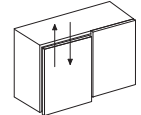
ビス A を回すこと
 で調整できます。

2. 扉の前後調整



ビス B を回すこと
 で調整できます。

3. 扉の上下調整

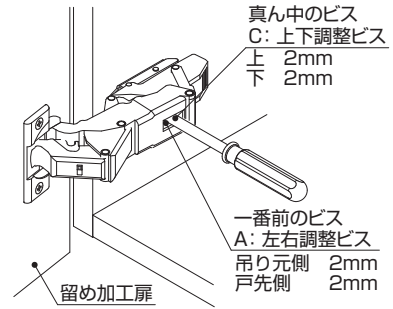
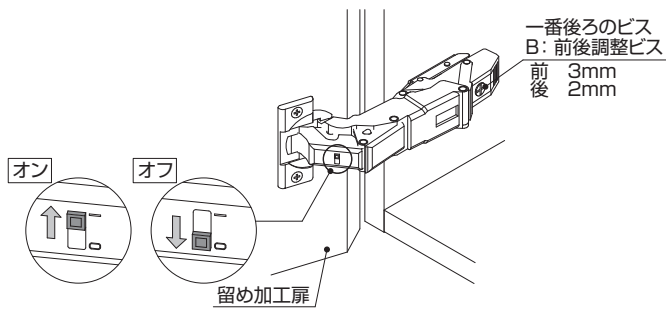


ビス C を回すこと
 で調整できます。

開き扉の調整（留め加工扉）

ダンパー（蝶番内蔵）の調整

扉の大きさによってオン、オフの切り替え、ブレーキ機構の強さを調整してください。
 下図のように爪の位置を替えて、一度扉を閉じるとオン、オフが切り替わります。

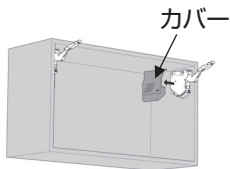


フラップアップ式ウォールキャビネットの調整方法



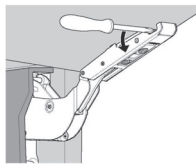
この作業が必要なときは、必ず取り付け業者さんに依頼してください。
無理に作業すると、落下・破損・ケガの恐れがあり危険です。

扉の取り外し方法



カバー

カバーを外します。

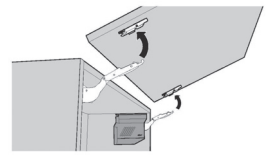


ドライバーをアーム先端に差し込み、扉の座金から外す。

注意

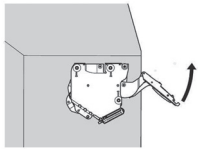


ドライバーで扉に傷がつかないようにしてください。

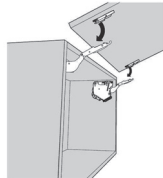


扉を外します。

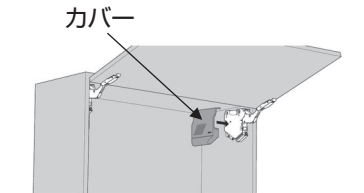
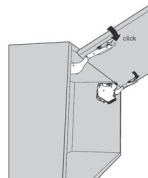
扉の取り付け方法



レバーを注意して
ゆっくり持ち上げる。

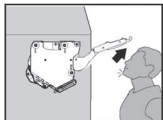


扉裏の座金にクリップオン。
カチャという音を確認してください。



カバ
矢印の方向へ押してください。

注意



アームが跳ね上がってケガをする
可能性があります。
扉を付けていない場合には絶対に
アームを押し下げないでください。



アームが上がった状態では絶対に
下に押し下げないでください。



扉の落下に注意する。

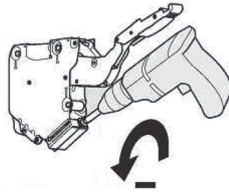
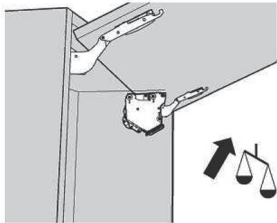
作業中絶対に扉を落下させないようにしてください。
作業終了後、必ず扉を5回以上開閉し、がたつきや
ビスの緩みがないことを確認してください。

フラップアップ式ウォールキャビネットの調整方法

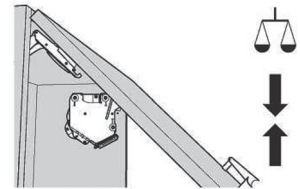
バネの調整

扉を開けて扉が自然と上がったり、下がったりする場合には電動ドライバーでバネの力を調整してください。

●バネ力の調整：扉が上がる時

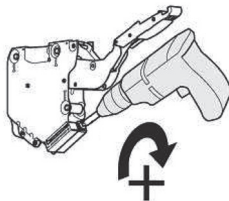
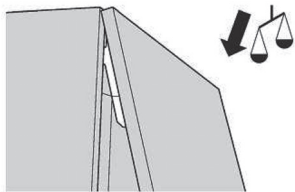


電動ドライバーで左へ回してください。

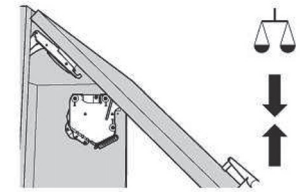


扉のバランスが取れるようにしてください。

●バネ力の調整：扉が下がる時

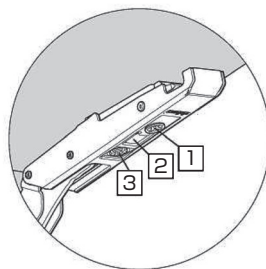
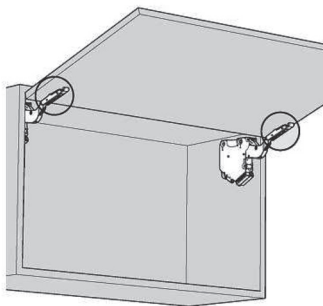


電動ドライバーで右へ回してください。

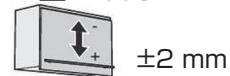


扉のバランスが取れるようにしてください。

扉の調整



① 上下調整



±2 mm

② 左右調整



±2 mm

③ 前後調整



±2 mm

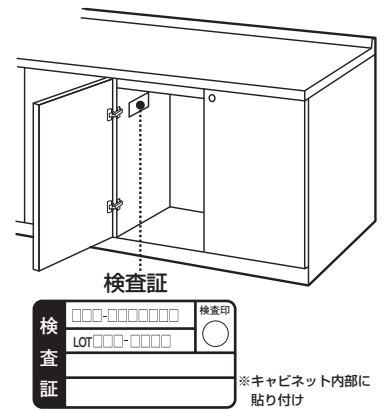
プラスドライバーで上下・左右・前後の調整ができます。

ガスや水道の元栓が閉まっていると、設備機器の故障と間違えることがあります。修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
お湯の出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓が締められている。 ● 吐水口に水あかがたまっている。 ● 水圧が低い。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓を全開にしてください。 ● 吐水口を掃除してください。 ● 止水栓で調整してください。
水漏れがする	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓の締め付け不足。 ● 止水栓のパッキン不良。 ● 水栓金具の取り付けナットの緩み。 ● ゴミ収納器の締め付け不良。 ※不明な名称については水栓金具の説明書をご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 十分に締めてください。 ● パッキンを交換してください。 ● 取り付けナットを締めてください。 ● 十分に締めてください。
下水の臭いがする	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水トラップの封水不良。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水トラップ部を点検してください。
ガスが点火しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の消耗。 ● 元栓が閉まっている。 ● 点火プラグが汚れている。 ※不明な名称についてはガス機器の説明書をご覧ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池を交換してください。 ● 元栓を開けてください。 ● 点火プラグを掃除してください。
IHが作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ● キーを押してもヒーターが入らない。 ● ヒーターが点滅後、消灯する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源を入れてください。 ● 鍋をヒーターの中央に置いてください。
蛍光灯が暗くなった	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯の寿命が切れかかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯を交換してください。
蛍光灯が点滅し始めた	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯の寿命が切れかかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯を交換してください。
蛍光灯が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯の寿命が切れている。 ● 蛍光灯がソケットにしっかり入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯を交換してください。 ● 蛍光灯をソケットにしっかり入れてください。
扉がガタつく	<ul style="list-style-type: none"> ● 蝶番のビスが緩んでいる。 ● 蝶番のビスが空回りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ビスを締めなおしてください。(25ページ参照) 強く締めすぎないようにしてください。 ● ビス穴へマッチ棒やつま楊枝を接着剤と共に埋め、再度ビスを締めてください。
扉がギーギーと鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ● 潤滑油不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 蝶番の軸へミシン油を差してください。差し過ぎると他のトラブルとなりますのでご注意ください。
扉が下がる	<ul style="list-style-type: none"> ● ビスが緩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 蝶番マウントの上下調整ビスで再調整し、ビスを締めなおしてください。(26ページ参照) 強く締めすぎないようにしてください。
引き出しが開かない	<ul style="list-style-type: none"> ● プッシュオープン機構の調整不良。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プッシュオープン機構を調整しなおしてください。

13 アフターサービス

- 異常が発生した場合の使用はやめてください。「こんなときには?!」を見て、もう一度ご確認ください。それでも不都合な場合は被害拡大しないよう、水栓金具・食器洗い機・食器洗い乾燥機の場合は止水栓、ガス機器の場合は元栓、電気機器の場合は電源を OFF にしてからアフターサービスを依頼してください。
- アフターサービスを依頼される場合や、不明な点のご相談は、右図のラベルを確認のうえ、まず、販売会社・管理会社もしくはお求めの工務店・販売店へお問合せください。
- 相談先が不明の場合は、弊社お客様相談センターへお問合せください。



お客様相談センター



フリーダイヤル 0120-685-110

受付時間 平日 9:00~18:00、土曜日 9:00~18:00
休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

● 加熱機器、食器洗い機、食器洗い乾燥機、水栓金具の修理は本体もしくは、取扱説明書に表示している「フリーダイヤル」をご利用ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	システムキッチン
型名	
販売店様名	
引き渡し日	年 月 日
故障の状況	
ご住所	
お名前	
電話番号	
訪問希望日	

※おことわり

- 製品の仕様や掲載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- 扉など天然の材料を使用しているものについては、同色・同柄の同一部材を供給することができませんので、その節にはご容赦願います。
- 保証内容、期間については、裏表紙に記載されている保証書をご確認ください。

オプション品・交換部品など

オプション品・交換部品はお買い上げ販売店にお問い合わせください。
また、弊社のウェブ販売サイト「永大産業 web shop」でもお買い求めいただけます。
<http://www.rakuten.ne.jp/gold/eidai-web/>

※おことわり

取り付け、交換の際に特別な資格や技能が必要なものや安全にかかわるものは取り扱っておりません。

<オプション品・交換部品の一例>

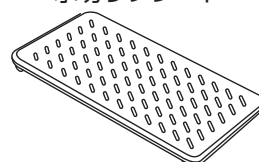
シンク・ゴミかご



止水フタ



水切りプレート



保証書

品名

品番

★お客様のお名前

様

★ご住所 〒

★電話番号 ()

—

保証期間

取り扱い販売店名、住所、電話番号

※引き渡し日 年 月 日から

2年間

(ただし、組み込み機器は別途添付されている保証書によります。)

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

記

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

引き渡し日から上記保証期間中に、対象製品において取扱説明書、本体貼り付けラベルなどの注意内容に従い、使用及び維持管理を行っていた状態で自然不具合が発生した場合、本書記載内容にもとづき、無料修理いたしますので、お取り扱いの施工店または販売店に修理をご依頼ください。また修理に際して本書をご提示ください。

●保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

1. 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合
2. 車両・船舶、業務用、病院や施設など、一般住宅以外に使用した場合の不具合
3. 当社が定める取付説明書等に基づかない取り付け、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合
4. 使用上の不注意・故意・過失または不当な修理や改造による不具合
5. 使用者または第三者の不適切な使用または維持管理に起因する不具合
6. 建築躯体、関連設備工事など製品以外の不具合に起因する不具合
7. 経年変化または使用に伴う磨耗、さび、かび、変質、変色、反りなどの不具合
8. 消耗部品（電球やバッキンやシーリングなど）の取り替え及び保守
9. 指定外の消耗品の設置または使用に起因する故障及び損傷
10. 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
11. 漏水、結露等による長時間高湿度状態で放置された場合などの室内環境や自然現象に起因する不具合
12. 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為に起因する不具合
13. 納入後、1年以上経過した場合の虫害
14. 火災・爆発などの事故、落雷・凍結・地震・噴火・洪水・津波などの天災地変及び公害、塩害、ガス害、異状電圧、使用電源（電圧、周波数）などによる不具合
15. 修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、不具合の存在を確認できなかった場合
16. 部品交換を伴わない調整、その他手直し修理、保守、点検、検査、作業
17. 製造時に実用化されていた技術では予測不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
18. メーカーがリコール宣言を行った後の、リコール部品及びリコール部位に起因する本製品の故障及び損傷
19. 取り付け完了時に申し出がなかったキズなどの不具合
20. 取り付け後の移設等に起因する故障及び損傷
21. 砂やごみかみによる不具合及びバッキン・シーリング等消耗品の損傷
22. 戦争、暴動等の破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合
23. 国または公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷
24. その他、当該不具合の発生が当社の責によらない場合

●離島または離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。

●ご転居の場合には事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。

Effective only in Japan

●本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●キッチンに組み込まれる設備機器などについては、それぞれに添付されている保証書の内容をご確認ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げいただいた販売店もしくは、弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

永大産業株式会社

<http://www.eidai.com>

内装システム事業部

お客様相談センター

 **0120-685-110**

受付時間 **平日** 9:00~18:00 **土曜日** 9:00~18:00

休業日 日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始